ESET 共有ローカルキャッシュ ユーザーズマニュアル

■お断り

- 本マニュアルは、作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバー ジョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能が異なる場合があります。また、本マニュ アルの内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルの著作権は、キヤノン | Tソリューションズ株式会社に帰属します。本マニュアルの一部または全部を 無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- ESET セキュリティ ソフトウェアシリーズの各プログラムの著作権は、ESET, spol. s r.o. に帰属します。
- ESET、NOD32、ThreatSense、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Remote Administrator は、 ESET, spol. s r.o. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、Outlook、Windows Live、ActiveX は、
 米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、FireWire は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

目 次

<mark>Chapter 1</mark> はじめに	1.1 共有ローカルキャッシュの概要4 1.2 システム要件4
Chapter 2 インストール	 2.1 Linux 仮想コンピューターへのインストール
Chapter 3 設定	3.1 ESET 共有ローカルキャッシュの設定

はじめに

Chapter

はじめに

┃ 1.1 共有ローカルキャッシュの概要

仮想環境では、ネットワーク上の複数のコンピューターが同じイメージファイルを共有することがよくあります。そう した環境では、同じファイルが多く保存されるケースがあります。ESET 共有ローカルキャッシュは、重複したファイル のスキャンを減らすことで、仮想環境のパフォーマンスを向上させます。各ファイルはスキャンされた後、共有キャッシュ に保存されます。

ESET 共有ローカルキャッシュは、ウイルス対策ソフト ESET Endpoint Security や ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security for Microsoft Windows Server などが安全と判定したファイルを保存します。いったん保存された情報は、 仮想環境上のすべてのクライアントが使用可能で、クライアントで新たなスキャンが実行される際に処理されます。 キャッシュ上で安全とマークされたファイルに変更がなければ、スキャンの対象外となります。

ESET 共有ローカルキャッシュのコンポーネントは、Windows、Mac のデスクトップ製品とサーバー製品に互換性があり、 スキャン時の使用リソースの削減に大きな効果を発揮します。

ワンポイント

キャッシュエントリーは RAM のみに書き込まれます。新しいバージョンのウイルス定義データベースがコンピューターに存在する と、キャッシュエントリーは自動的に上書きされます。

1.2 システム要件

ESET 共有ローカルキャッシュは次の Linux ディストリビューションに対応しています。 ・CentOS 6.6 64 bit

インストール

Chapter 2

2.1 Linux 仮想コンピューターへのインストール

インストール

ESET 共有ローカルキャッシュを 64bit の Linux ディストリビューションにインストールするには、インストール対象と なる仮想コンピューターにパッケージファイルを保存します。パッケージの保存場所に応じて、SCP、WinSCP や Wget などを使用します。

操作手順

!重要

ESET 共有ローカルキャッシュをインストールする前に、i686 を含めて依存するライブラリーをすべてインストールしておいてください(libc.so.6 など)。

1 次のコマンドで、インストールパッケージの実行権限を変更します。

chmod +x eslc_appliance.x86_64.rpm.bin

2 次のコマンドで、インストールパッケージを実行します。

./eslc.x86_64.rpm.bin

3 iptables コマンドを使用してファイアウォールに例外を設定し、インバウンドの UDP トラフィックを 通信可能にします(既定のポート番号は 3537)。

iptables -I INPUT -p udp --dport 3537 -j ACCEPT

👍 次のコマンドで、メインサービスを起動します。

/etc/init.d/eslc start

ワンポイント

システムコンソールで ESET 共有ローカルキャッシュのステータスを確認または設定変更する場合は、次のコマンドを実行します。 /opt/eset/eslc/sbin/eslc syscon



以上で仮想コンピューターへのインストールは終了です。

インストールに失敗した場合は、yum install ed make glibc.i686 openssl.i686 パッケージをインストール してから、再度インストールを実行します。

インストール

ESET Remote Administrator での管理

ESET 共有ローカルキャッシュを ESET Remote Administrator で管理する場合、「ERA エージェント」のインストールが必 要です。「ERA エージェント」のインストールについては『ESET Remote Administrator ユーザーズマニュアル』の「4.2.2 ERA エージェントの展開」を参照してください。

2.2 アクティベーション

ESET Remote Administrator を使って管理するために、ESET 共有ローカルキャッシュをアクティベーションします。ア クティベーションには、オフラインのライセンスファイルが必要です。あらかじめ、ユーザーズサイトからダウンロー ドし、ESET 共有ローカルキャッシュがインストールされているコンピューターに転送します。

■アクティベーションの手順

(操作手順)

- ユーザーズサイトからオフラインライセンスファイルをダウンロードします。
- 🖊 オフラインライセンスファイルを ESET Remote Administrator がインストールされているサーバーに転 送します。
- 😫 ESET Remote Administrator を起動してログインします。
- 21) [管理] > [ライセンス管理] > [ライセンスの追加] をクリックして、[オフラインライセンスファイル] を開きます。
- 【5】[ファイルを選択]をクリックし、ユーザーズサイトからダウンロードしたライセンスファイルを選択 して、[Open] をクリックします。
- (う [アップロード] > [ライセンスの追加] をクリックします。

< 戻さ ライセンスの追加 - オフラインライセンスファイル
 ライセンスキー
◆ セキュリティ管理者認識情報
ライセンスファイルトーグン 0100A3D0-F0DA-7570-4C54-F99A4611325A
オフラインライセンスファイル Cillusers/Administraton/Desktoplasasa.txt 参照 5
7:5A-F ~
ライセンスの地加



「製品のアクティベーションタスク」でオフラインライセンスファイルを選択し、ESET 共有ローカル キャッシュがインストールされているサーバーヘタスクを実行します。

ESET Remote Administrator により、ライセンスファイルが追加され、ESET 共有ローカルキャッシュがアクティベート されます。

ワンポイント アクティベーションタスクが、ESET 共有ローカルキャッシュのインストールされたサーバーに到達するまで、少し時間がかかるこ とがあります。

Chapter



3.1 ESET 共有ローカルキャッシュの設定

ESET 共有ローカルキャッシュを適切に設定するためには、次の情報が必要です。

- ・共有キャッシュサーバーのリスニングポート番号(既定値は 3537)
- キャッシュパスワード
- ・ キャッシュサイズ(キャッシュに保存できる最大件数)

設定

基本情報画面は、キャッシュの全体像を表示します。【Enter】キーを押すと各項目を設定することができます。



管理モードでは、次の設定ができます。

Set cache size	保存するキャッシュの最大件数			
Set cache password	キャッシュアイテム追加時に、クライアント側で必要なパスワード			
Set cache listening port	リクエストを受け取る通信ポート			
Change administrator password	システムコンソールの設定によって、管理者だけが変更可能(管理者パスワー ドの設定が必要)			

矢印キーで選択して【Enter】キーで実行します。





3.2 ESET Remote Administrator による設定

ERA Web コンソールでポリシーを作成します。

操作手順

- ┫[管理]>[ポリシー]>[ポリシー]ボタン>[新規作成]を選択します。
- 2 [基本]タブを開いて、新しいポリシーの[名前]と[説明]を入力します。
- 3 [設定]> [ESET Shared Local Cache]> [共有ローカルキャッシュ]をクリックします。
- 4 下図を参照してパラメーターを設定します。

CEET REMOTE	ADMINISTRATOR			ಮ⊄ಾ-೫-% ⊻	٩	?	ADMINISTRATOR	B• 884487 55 ± 792
(R)	新しいポリシー - 設定							
(j) 🖸 🐼	t.							
A	t.							
ESET Shar	ed Local Cache	×					Q、入力すると検索	45996-
7977	·	🗖 B.	ε.					+1
共有ロ	ーカルキャッシュ		キャッシュサイズ		100000			
2-10			キャッショリスニングボート		3537			
			キャッシュバスワード		パスワードの表示			
[·해 🖸	äτ							
•• 44	V-							
<u>∓</u> #7	++2-tz/c							

作成したポリシーの割り当て方法は、『ESET Remote Administrator ユーザーズマニュアル』を参照してください。

設定

3.3 クライアントの設定

ESET 共有ローカルキャッシュは、次のクライアント製品に対応しています。

- ESET File Security for Microsoft Windows Server
- ESET Endpoint Security
- ・ ESET Endpoint アンチウイルス

ESET File Security for Microsoft Windows Server の設定

(操作手順)

- 🚹 メインメニュープログラム画面を開きます。
- ▶ 【F5】キーを押して〔詳細設定〕>〔ウイルス対策〕>〔共有ローカルキャッシュ〕を選択します。
- 3 [共有ローカルキャッシュを有効にする]を有効にして、ネットワーク上でのファイルとフォルダーの スキャン情報をローカルキャッシュに保存できるようにします。

!重要`

新しいスキャンを実行する場合、ESET File Security for Microsoft Windows Serverはキャッシュにあるスキャン済みファ イルを検索します。ファイルが一致すると、スキャンの対象外になります。

詳細設定の「キャッシュサーバー」欄の設定内容は次のとおりです。

ホスト名	ESET 共有ローカルキャッシュがインストールされているコンピューターの名前または IP アドレス
ポート	通信で使用するポート番号 ※ ESET 共有ローカルキャッシュをインストールする際に設定したポート番号と同じです。
パスワード	共有ローカルキャッシュで設定したパスワードを入力します。

e) 詳細設定 - ESET File Security			X
詳細設定		Q,	x ?
ウイルス対策 1 リアルタイム検査 コンピューターの検査 アイドル状態検査 スタートアップ検査 リムーバブルメディア ドキュメント保護 HIPS HIPS	➡ 基本		
	● 自動除外		
	共有ローカルキャッシュ		
	共有ローカルキャッシュを有効にする	~	0
アップデート	キャッシュサーバー		
デバイスコントロール	ホスト名		0
ツール	ボート		0 ‡
ユーザーインターフェース	パスワード		0
	➡ パフォーマンス		
既定		вок	キャンセル

設定

ESET Endpoint Security または ESET Endpoint アンチウイルスの設定

操作手順

1 メインメニュープログラム画面を開きます。

2【F5】キーを押して〔詳細設定〕>〔ウイルス対策〕>〔共有ローカルキャッシュ〕を選択します。

3 [共有ローカルキャッシュを有効にする]を有効にして、ネットワーク上でのファイルとフォルダーの スキャン情報をローカルキャッシュに保存できるようにします。

!重要

新しいスキャンを実行する場合、ESET Endpoint Security や ESET Endpoint アンチウイルスは、キャッシュにあるス キャン済みファイルを検索します。ファイルが一致すると、スキャンの対象外になります。

詳細設定の「キャッシュサーバー」欄の設定内容は次のとおりです。

ホスト名	ESET 共有ローカルキャッシュがインストールされているコンピューターの名前または IP アドレス
ポート	通信で使用するポート番号 ※ ESET 共有ローカルキャッシュをインストールする際に設定したポート番号と同じです。
パスワード	共有ローカルキャッシュで設定したパスワードを入力します。

e)詳細設定 - ESET Endpoint Security			_ D X
詳細設定		Q,	x ?
ウイルス対策 コ リアルタイム検査 コンジューターの検査 アイドル状態検査 スタートアップ検査 リムーバブルメディア ドキュメント保護 トワップデート マ アップデート イ パーソナルファイアウォール マ パーソナルファイアウォール マ マンナート マ パースコントロール マ ツール コーザーインターフェース	基本 共有ローカルキャッシュ 共有ローカルキャッシュを有効にする キャッシュサーバー ホスト名 ボート パスフード		c 0 0 0 20
既定		ОК	キャンセル

3.4 通信について

最速のリクエストとレスポンスを実現するために、ESET 共有ローカルキャッシュは UDP 通信プロトコルを採用してい ます。HMAC の算出はメッセージごとに、または各キャッシュリクエストとレスポンスの信頼性を保証するために必要 となるキャッシュパスワードごとに実行します。